

学 士 論 文 / 修 士 論 文

タイトルが  
長い場合はいい感じに改行

× × 大学大学院 × × × × 研究科  
× × × × 専攻 × × × × 分野 × × 研究室  
苗字 名前

# Abstract / 要旨

Abstract を書きます .

# 目次

第 1 章	Introduction / 序論	1
1.1	Review . . . . .	1
1.2	Purpose . . . . .	1
第 2 章	Device	2
第 3 章	Method	3
第 4 章	Implementation	4
第 5 章	Results/Benchmarks/結果	5
第 6 章	Discussion/考察	6
第 7 章	Conclusion/結論	7
Appendix / 付録		8
A	セクション 1 . . . . .	8
B	セクション 2 . . . . .	8
Acknowledgments / 謝辞		9

## 第 1 章

# Introduction / 序論

Introduction / 序論

### 1.1 Review

先行研究<sup>\*1</sup>．図の説明は，label を付け，図 1 のように挿入します．

### 1.2 Purpose

研究目的．

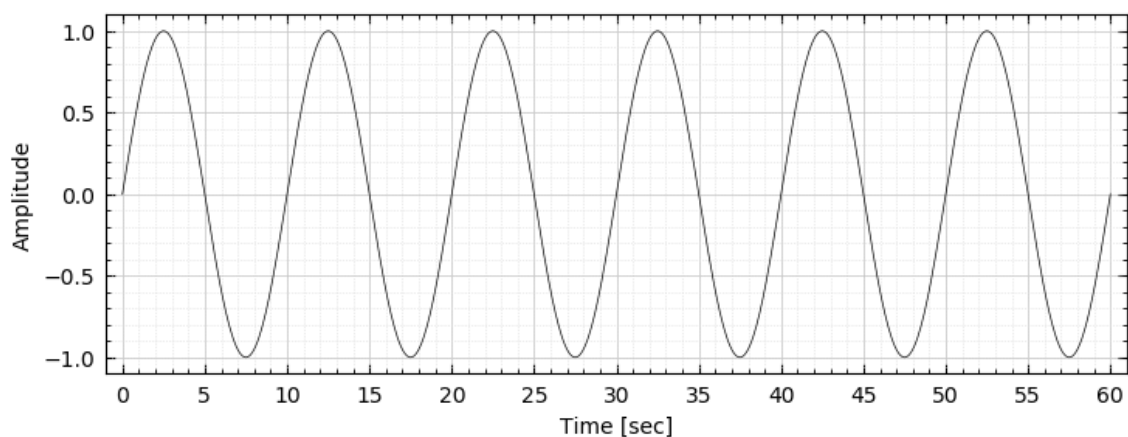


図 1 Sin 波．区間  $[0, 60]$  に発生している．図の説明は，「名詞句．文章．」の順番に説明するとよい．ここでは PNG 画像を貼り付けているが，pdf 等のベクトル図を貼り付けると，描画も印刷も格段に綺麗になる．pdf 形式でのグラフプロットは，Matplotlib の出力する拡張子を pdf に置き換えるだけである．なお，本画像は一部加工されており，出典は [ADMIS 2018] である．

---

<sup>\*1</sup> 脚注はこのような挿入します．

## 第 2 章

# Device

実験装置 / 観測装置について説明する．タイトルは実験 / 観測装置の名称などにする．

## 第 3 章

# Method

実験手法 / 解析手法 / 等について説明する .

## 第 4 章

# Implementation

Implementation / 実装について説明する .

## 第 5 章

# Results/Benchmarks/結果

Results/Benchmarks について記述する .



## 第 6 章

# Discussion/考察

Discussion/考察について記述する．

## 第 7 章

# Conclusion/結論

Conclusion/結論について記述する .

# Appendix / 付録

Appendix / 付録 .

## A セクション 1

内容 .

## B セクション 2

図 / 表など .

# Acknowledgments / 謝辞

感謝の気持ちを述べる .

## 参考文献

- [1] ADMIS, W. 2018 「C++ から任意の Python 関数を実行する」, URL : <https://admiswalker.blogspot.com/2018/02/c-python.html> .